



下記「感染制御部平成17年度活動計画」はICT企画委員会で立案、運営部会で審議し、感染対策委員会（ICC）にて承認いただきました。

項立てをみると、例年通りなのですが、臨時年度計画に書いたように大きな計画が2つ追加になっています。

ひとつは、ウイルス感染症の抗体検査を全職

員対象に行うことです。検査結果をデータベース化すれば毎年全職員の検査をする必要はなくなるはずなので、定例の事業とせず、特別予算を組んで本年度の臨時計画として実施することを承認して頂きました。ふたつ目の臨時計画は過去2年間行ってきたサーベイランスの分析結果を基に、MRSAの院内感染撲滅作戦をやるうというものです。

・ 定例年度計画

1) 職員の健康管理

- (1) 新規採用職員（看護師、研修医）の抗体検査、ツ反
- (2) 希望者（学生、委託業者派遣職員を含む）、希望部署職員のウイルス抗体価測定（臨時計画参照）
- (3) 麻疹、水痘、ムンプス、風疹、B型肝炎の感受性職員全員にワクチン接種
- (4) インフルエンザワクチンの全職員接種
- (5) 病院内アウトブレイク時の対応（歯学部附属病院に拡大）

2) サーベイランス

- (1) 抗菌薬使用実態の把握（医療情報部、薬剤部との連携）
- (2) MRSA など重要な耐性菌のサーベイランス（臨床検査部との連携）
- (3) 病院内アウトブレイク（結核、麻疹、水痘、ムンプス、風疹、インフルエンザ）
- (4) エピネット報告の徹底
- (5) 部署を限定した SSI, BSI, UTI, VAP サーベイランス

3) インターベンションの実施

- (1) 定期的 ICT 病棟ラウンドの実施と病院感染対策の向上（各病棟月1回）
- (2) 長期抗菌薬使用例への介入
- (3) 抗 MRSA 薬不適正使用例への介入
- (4) サーベイランスとそれに基づくインターベンション

4) レギュレーション/コンサルテーション

- (1) 予防・対策に関するコンサルテーションの充実
- (2) 感染症の診断、治療に関するコンサルテーションの充実

5) 針刺し事例防止のための改善項目の実施

- (1) エピネット報告の徹底
- (2) リキャップ禁止等の啓発活動

6) 教育

- (1) 院内感染対策講習会年3回開催予定
- (2) リンクナース勉強会（定期）
- (3) 研修生（医師、看護師）の受け入れ

7) 地域感染制御ネットワークの維持促進

- (1) SARS 等の1類、2類感染症診療：必要時、地域における役割分担に積極的に参加すると同時に、トリアージ外来などを実施して当院の高度先進医療の遂行を維持する
- (2) 地域における病院感染対策のリーダーとしての役割を担う

・ 臨時年度計画

- 1) 全職員のウイルス抗体価のデータベース化（2年計画の1年目）全職員対象に抗体検査
- 2) MRSA 撲滅作戦
- 3) 移植病棟、手術室などにおける一足制導入、再使用ガウンの廃止の検討
- 4) 針刺し事例防止のための改善項目
 - (1) メスキュード缶を自動蓋付廃棄容器に変更
 - (2) 携帯用注射針廃棄容器の完全導入

M R S A 対策として、昨年からサーベイランスを院内感染と本人の持ち込みにわけて集計し、また各部署ごとに平均検出件数を出して、平均を2 S D 超えた場合に警戒値を超えたとして介入を行うようにしてきました。標準予防策の徹底、手洗いの徹底を呼びかけてきました。しかし、必ずしも徹底できていないことがラウンドすることでわかりましたので、本年は「手洗い宣言（私は患者さんの処置を行う前、行った後、必ず手をあらいます！）」を、個人参加の形ではじめ、「宣言月間」の実施を経て、最終的には「手洗い宣言病院」を標榜したいと考えております。宣言者がつけるバッジ、ポスターのデザインを職員の皆様から募集することも計画しております。

平均値が3 S D を超えたら、アウトブレイクと定義し、患者さんと接触する機会がある職員にご協力いただいて保菌検査、除菌を積極的に行って、その効果を検証する計画も予定しております。その他M R S A 撲滅作戦としてアイ

ディアがありましたら是非感染制御部までお寄せくださいますようお願いいたします。

（文責 白倉）



手を洗いましょう。